



2024年3月期第3四半期 決算説明資料

2024年2月13日
三菱ロジスネクスト株式会社

市場環境

- 世界経済は、インフレ率の鈍化は見られるものの依然として物価水準は高い状態にあり、各国中央銀行による金融引き締め策は維持されているが、足許では利下げを見通す局面に変化しつつある。また、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、加えてイスラエルとハマスの軍事衝突が勃発し、世界経済は先行き不透明でその成長は減速・停滞している。輸送費の高騰は当期に入り収まったものの、インフレ下においては、人件費や燃料費など広範囲でのコスト高を引き起こし、国内外でその影響が大きくなっている
- 物流機器市場は、国内においてはコロナ禍前と同様の水準で推移。海外においては、米州はコロナ禍後の一時的な特需は平準化してきているものの、安定した物流ニーズのもと堅調に推移している。欧州はインフレ圧力は緩和傾向にあるものの景気回復には至っておらず、コロナ禍後の反動需要からは縮小傾向で推移したのち停滞している。アジアは米州と同様にコロナ禍後の特需は収まりつつある中で物流機器需要は堅調に推移。一方、中国はゼロコロナ政策の解除により一時回復基調にはあったものの、不動産市場の悪化もあり景気は減速、物流機器市場も先行きが懸念される状況
- 当社においては、様々な部品供給の遅れによるリードタイムの長期化は解消傾向にはあるが、コスト高の状況は継続している。グループ全体としては十分な受注高を確保しつつ、欠品解消による生産整流化で出荷を促進し、それに伴い価格適正化の効果が拡大、為替の円安影響も追い風となっている

連結業績概要

- 売上高は、米州を中心とした前年度を上回る出荷の実現に加え、価格適正化の効果、為替の円安影響が寄与し、前年同期比+18.1%の増収
- のれん等償却前営業利益は、コスト高の状況は解消されないながらも、米州での出荷促進や国内外における価格適正化の効果拡大が寄与し、前年同期比+186.1%の増益

2. 決算ハイライト

(単位：億円)

損益計算書	FY2022/3Q(※)	FY2023/3Q	前年同期比増減	
売上高	4,409.5	5,209.5	+799.9	+18.1%
営業利益 (のれん等償却前) (営業利益率)	152.5 (3.5%)	436.4 (8.4%)	+283.8	+186.1%
のれん等償却	78.2	76.6	—	—
営業利益 (営業利益率)	74.3 (1.7%)	359.7 (6.9%)	+285.4	+384.1%
経常利益 (経常利益率)	60.6 (1.4%)	328.4 (6.3%)	+267.8	+441.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	27.6 (0.6%)	245.8 (4.7%)	+218.2	+790.2%

(※) 前連結会計年度中に適用していたEQDの企業結合に係る暫定的な処理に関し、前連結会計年度末において、暫定的な処理の確定を実施したため、2023年3月期第3四半期の各数値（のれん等）について確定の内容を反映させている

FY2022/3Q実績レート：USD = 136.51円 EUR = 140.59円 CNY = 19.88円
FY2023/3Q実績レート：USD = 143.29円 EUR = 155.29円 CNY = 19.98円

貸借対照表	FY2022/4Q	FY2023/3Q	前期末比増減	
総資産	4,754.3	5,099.3	+345.0	+7.3%
総負債	3,994.0	4,038.7	+44.6	+1.1%
純資産	760.2	1,060.6	+300.3	+39.5%

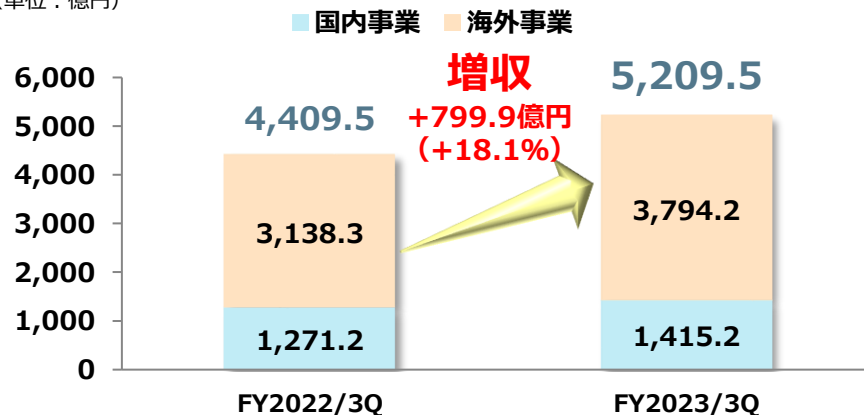
FY2022/4Q末レート：USD = 133.53円 EUR = 145.72円 CNY = 19.42円
FY2023/3Q末レート：USD = 141.83円 EUR = 157.12円 CNY = 19.93円 3

3. セグメント別業績

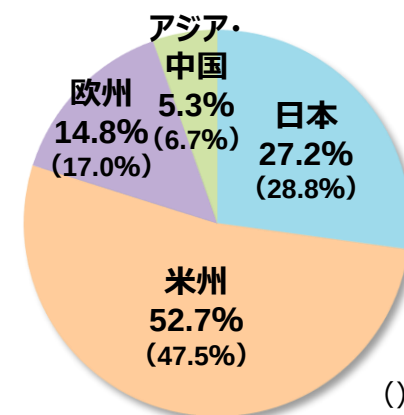
売上高

- 米州を中心とした販売台数の増加、及び価格適正化の効果が寄与したことで増収。為替の円安影響も追い風となり、トータルは前年同期比+18.1%の増収

(単位：億円)



FY2023/3Q地域別内訳

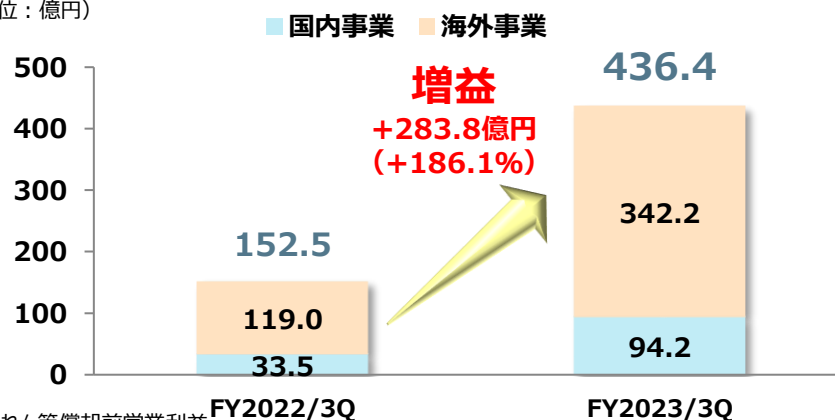


() は前年実績

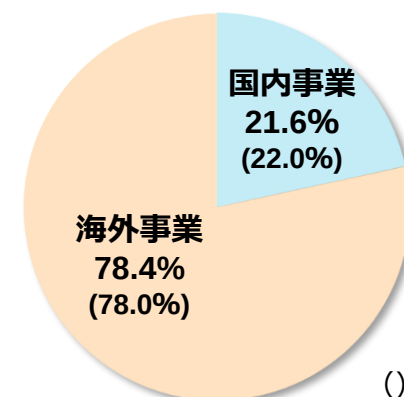
営業利益 (※)

- 価格適正化の効果拡大、輸出事業における海上輸送費の高騰沈静化並びに為替の円安影響が寄与し、トータルは前年同期比+186.1%の増益

(単位：億円)



FY2023/3Qセグメント別内訳

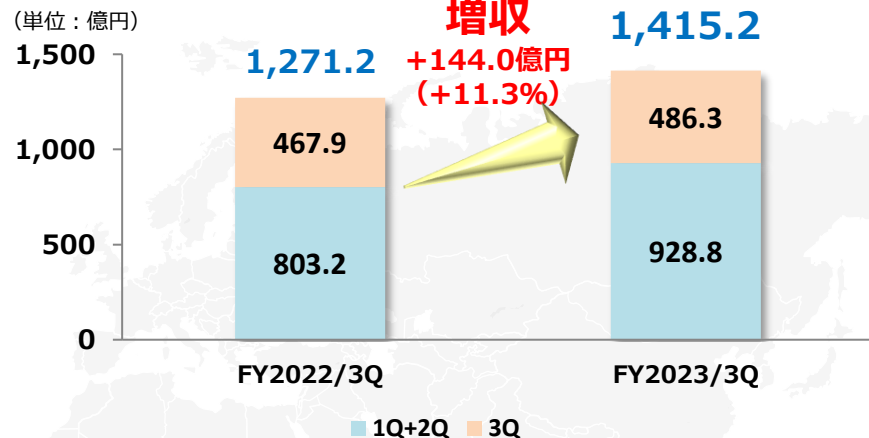


() は前年実績

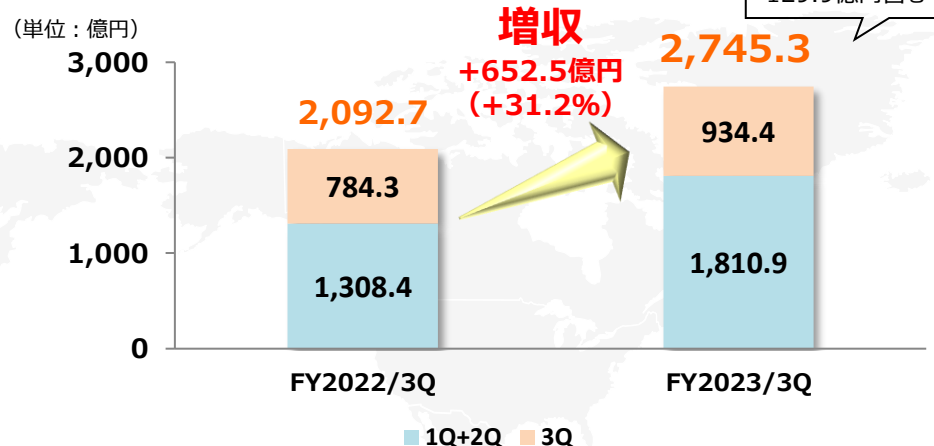
(※)のれん等償却前営業利益

4. 地域別売上高（為替影響含む）

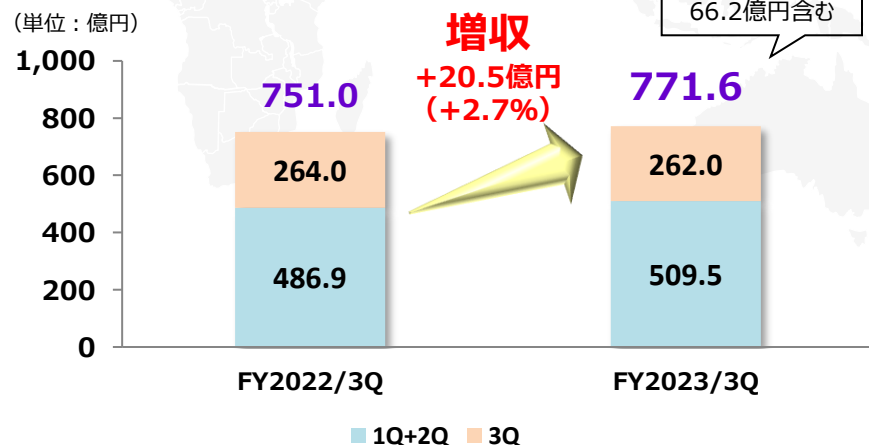
日本



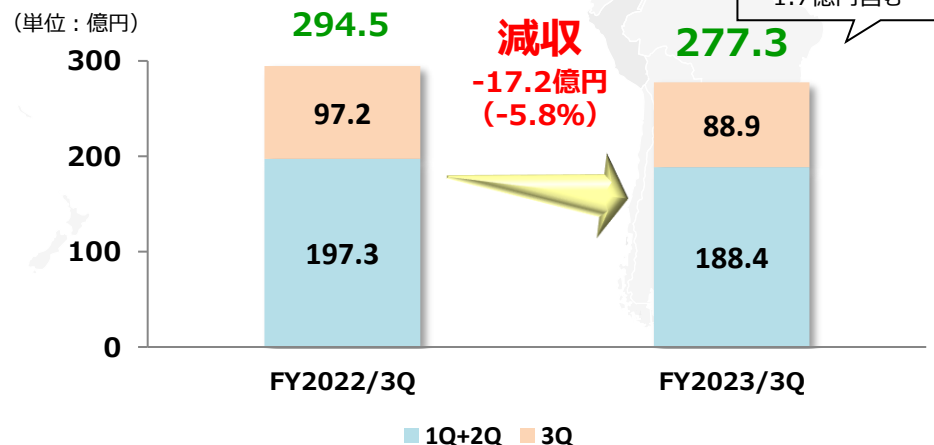
米州



欧州



アジア・中国



5. 連結売上高増減要因（前年同期実績対比）

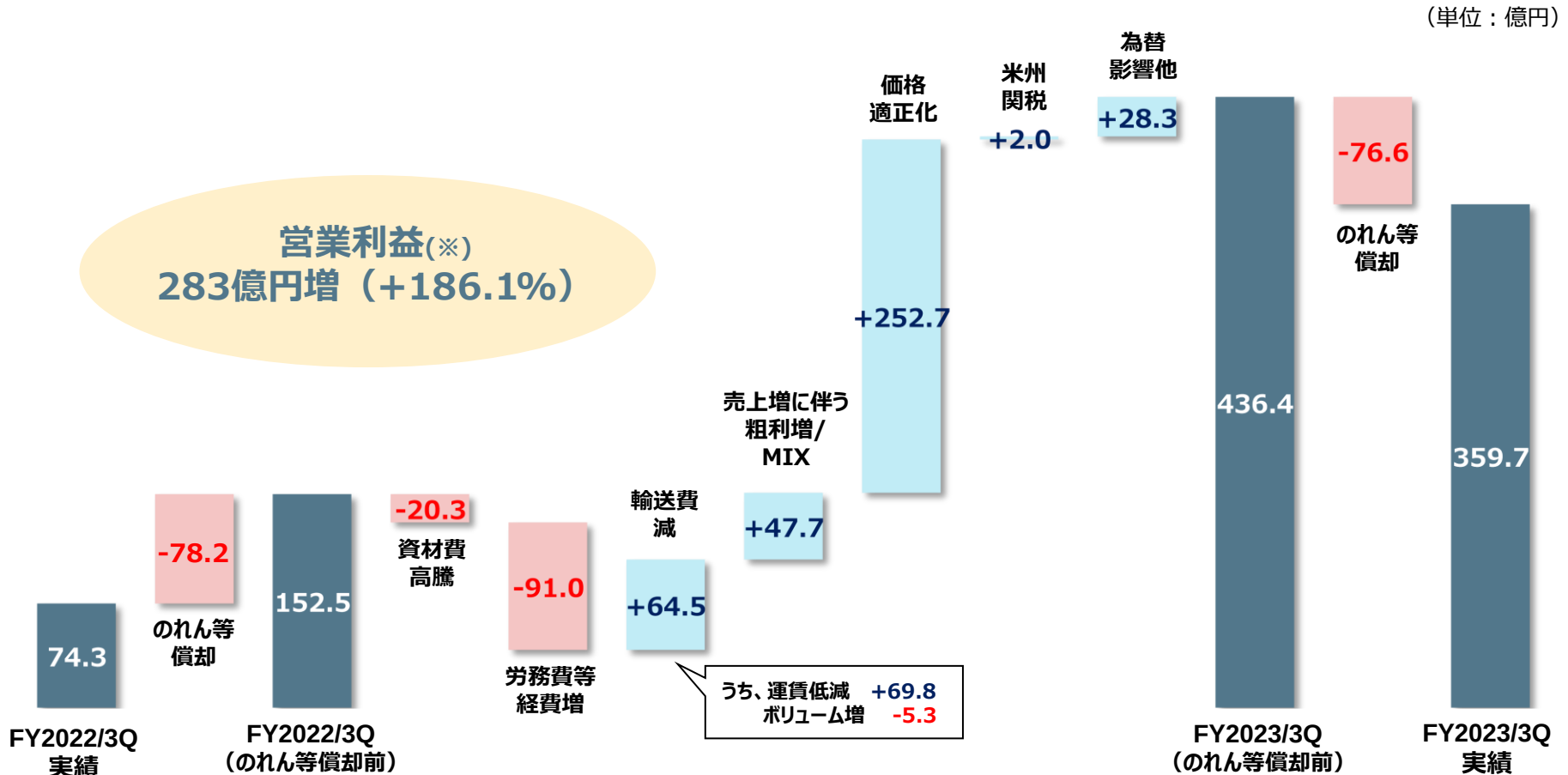
- 国内事業：部品欠品が解消傾向に向かい、価格適正化の効果も寄与し始めたことで増収
- 海外事業：米州の販売台数増加に伴う価格適正化の効果拡大、為替の円安影響が寄与し全体では増収。一方、欧州、アジア・中国は減収となった

（単位：億円）



6. 連結営業利益^(※)増減要因（前年同期実績対比）Logisnext

- 資材費は日本で高止まりも欧米で改善傾向。人件費等のインフレ影響は継続
- 売上高の増加、価格適正化の効果、海上輸送費の高騰沈静化が大きく寄与し、前年同期比+186.1%の増益



(※)のれん等償却前営業利益

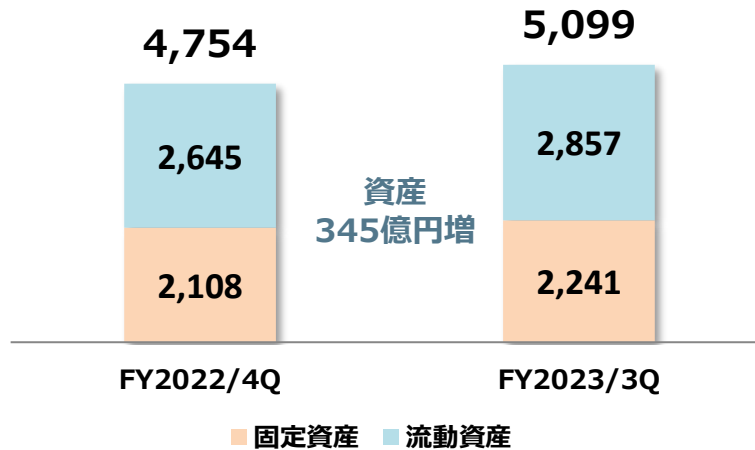
© MITSUBISHI LOGISNEXT CO., LTD. All rights reserved.

7. 連結貸借対照表

- 四半期純利益の獲得による利益剰余金増及び為替換算調整勘定の増加により純資産が増加。自己資本比率は15.9%→20.7%に改善

(単位：億円)

資産



項目	FY2022/4Q	FY2023/3Q	増減
流動資産	2,645	2,857	+212
(有形固定資産)	1,489	1,649	+160
(無形固定資産)	411	350	-60
(投資その他)	208	241	+33
固定資産計	2,108	2,241	+132
資産合計	4,754	5,099	+345

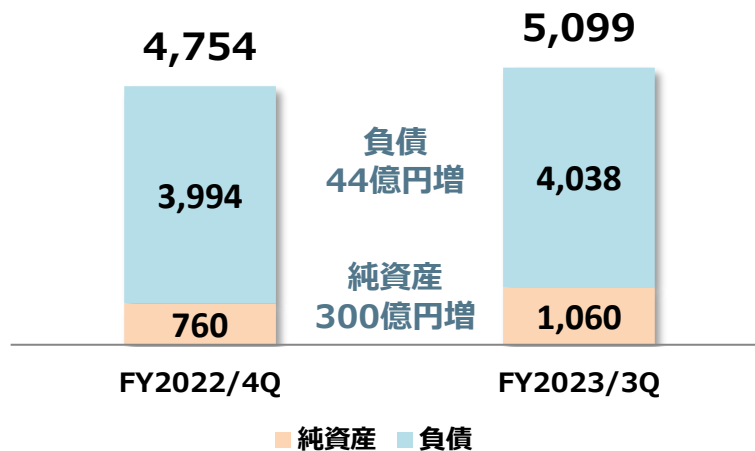
流動資産：増

為替の換算影響、現預金、棚卸資産の増加等

固定資産：増

為替の換算影響、有形固定資産の増加等

負債／純資産



項目	FY2022/4Q	FY2023/3Q	増減
流動負債	2,087	2,016	-70
固定負債	1,906	2,022	+115
負債合計	3,994	4,038	+44
純資産計	760	1,060	+300
負債・純資産合計	4,754	5,099	+345

負債：増

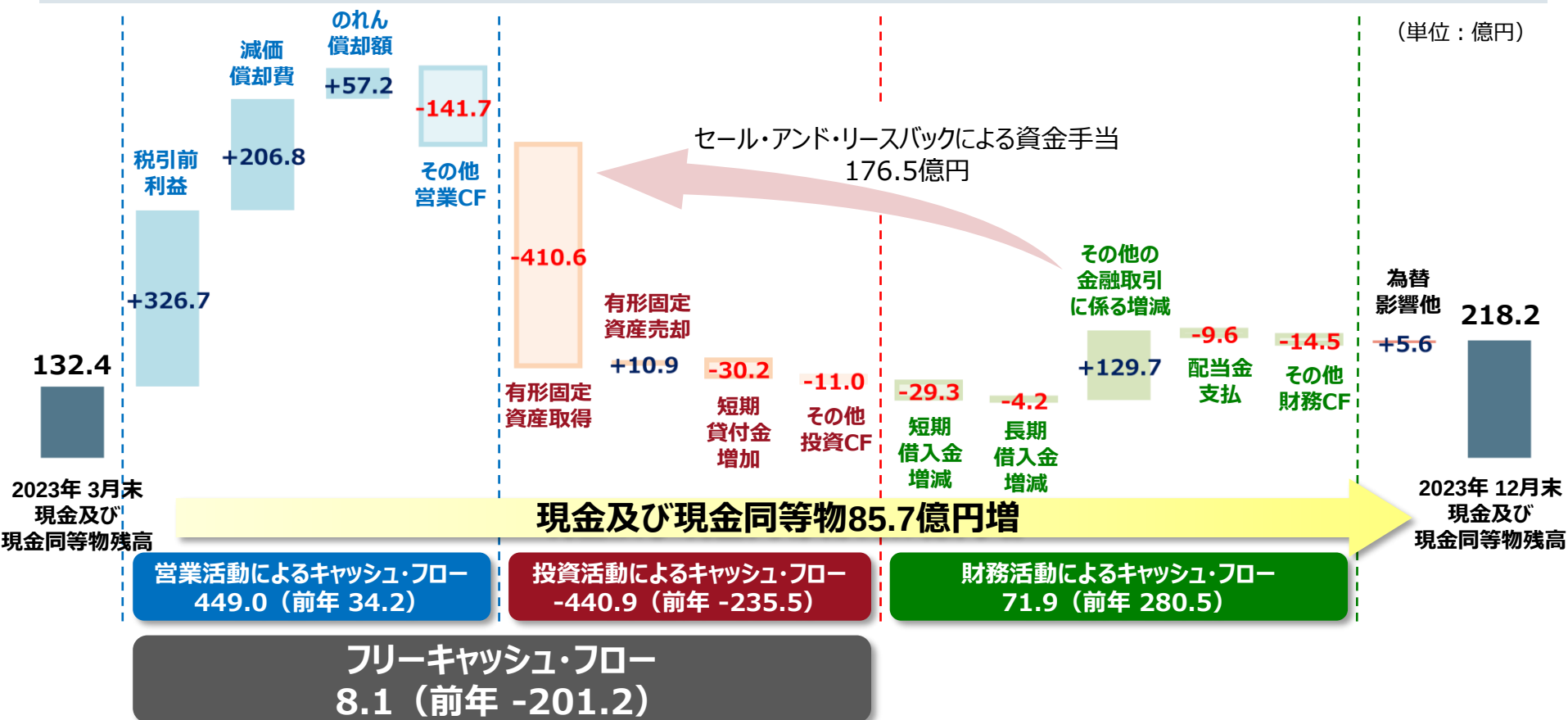
為替の換算影響、買掛債務の減少等

純資産：増

利益剰余金、為替換算調整勘定の増加

8. キャッシュ・フローの状況

- 営業C/Fは税引前利益が増加したことにより前年同期比+414.8億円
- 投資C/Fは短期貸付金回収から当期は預入に転じたこと（影響額-133.7億円）や有形固定資産の取得による支出の増加により前年同期比-205.4億円
- フリーC/Fは営業C/Fの改善により前年同期比+209.4億円（上記の短期貸付金の影響を加味すれば前年同期比+343.1億円）



9. FY2023業績見通し（上方修正）

- 売上高は2023年11月に発表した業績予想通りの着地となる見込み
- 利益は欧州等の市況悪化はあるも、米州の出荷促進や国内外の原価悪化抑制、価格適正化の効果拡大により、全利益項目において前回発表した業績予想を上回る見込み

（単位：億円）

	FY2023業績予想 (2023年11月公表)	FY2023業績修正 (2024年2月公表)	前回予想比増減	
販売台数	115千台	115千台	－	－
売上高	6,900.0	6,900.0	－	－
営業利益（のれん等償却前） （営業利益率）	500.0 (7.2%)	550.0 (8.0%)	+50.0	+10.0%
のれん等償却	100.0	100.0	－	－
営業利益 （営業利益率）	400.0 (5.8%)	450.0 (6.5%)	+50.0	+12.5%
経常利益 （経常利益率）	360.0 (5.2%)	400.0 (5.8%)	+40.0	+11.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 （当期純利益率）	230.0 (3.3%)	290.0 (4.2%)	+60.0	+26.1%
1株あたり配当	19円	20円	+1円	－

FY2023期初計画レート：USD=130.00円 EUR=140.00円 CNY=20.00円
 FY2023/3Q実績レート：USD=143.29円 EUR=155.29円 CNY=19.98円
 FY2023/4Q計画レート：USD=140.00円 EUR=150.00円 CNY=19.70円

【参考資料】主な経営指標

	指標	算式	FY2022/4Q		FY2023/3Q*1		コメント
				のれん等償却前*2		のれん等償却前*2	
総合	総資本利益率（ROA）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{総資本}}$	1.6%		6.7%		売上高の大幅増加、価格適正化の取り組み効果、為替の円安影響による業績回復に伴い、各指数が良化。
	自己資本利益率（ROE）	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$	10.0%		36.2%		
収益性	売上高営業利益率	$\frac{\text{営業利益}}{\text{売上高}}$	2.4%	4.1%	6.9%	8.4%	
	売上高当期純利益率	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}}$	1.1%	2.7%	4.7%	6.1%	
効率性	総資本回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$	1.4回		1.4回		
	売上債権回転率	$\frac{\text{売上高}}{\text{売上債権}}$	6.8回		7.5回		
	棚卸資産回転率	$\frac{\text{売上原価}}{\text{棚卸資産}}$	4.7回		4.4回		
安全性	自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	15.9%		20.7%		
	D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{株主資本}}$	3.0倍		2.3倍		
株式関連	1株あたり利益	$\frac{\text{当期純利益}}{\text{発行済株式数}}$	64.82円		307.45円		
	株価収益率（PER）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり利益}}$	14.5倍		4.5倍		株価： 2023年3月末：941円 2023年12月末：1,382円
	株価純資産倍率（PBR）	$\frac{\text{株価}}{\text{1株あたり純資産}}$	1.3倍		1.4倍		

*1 PL項目は年換算して算出

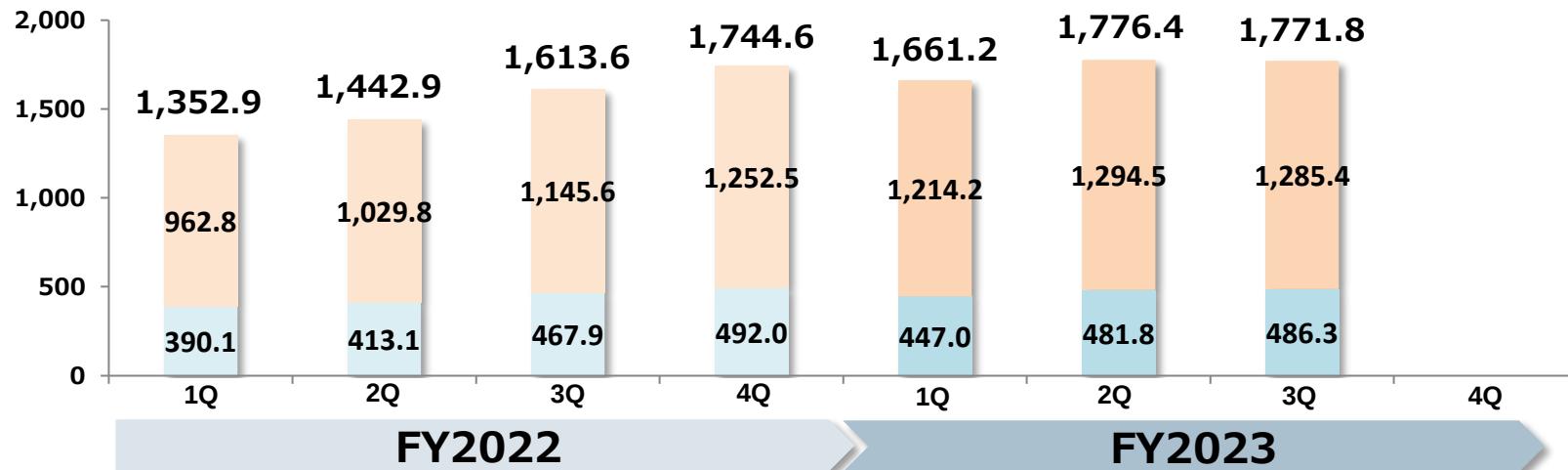
*2 参考値

【参考資料】四半期推移 (セグメント別売上高・営業利益)

(単位：億円)

国内事業 海外事業

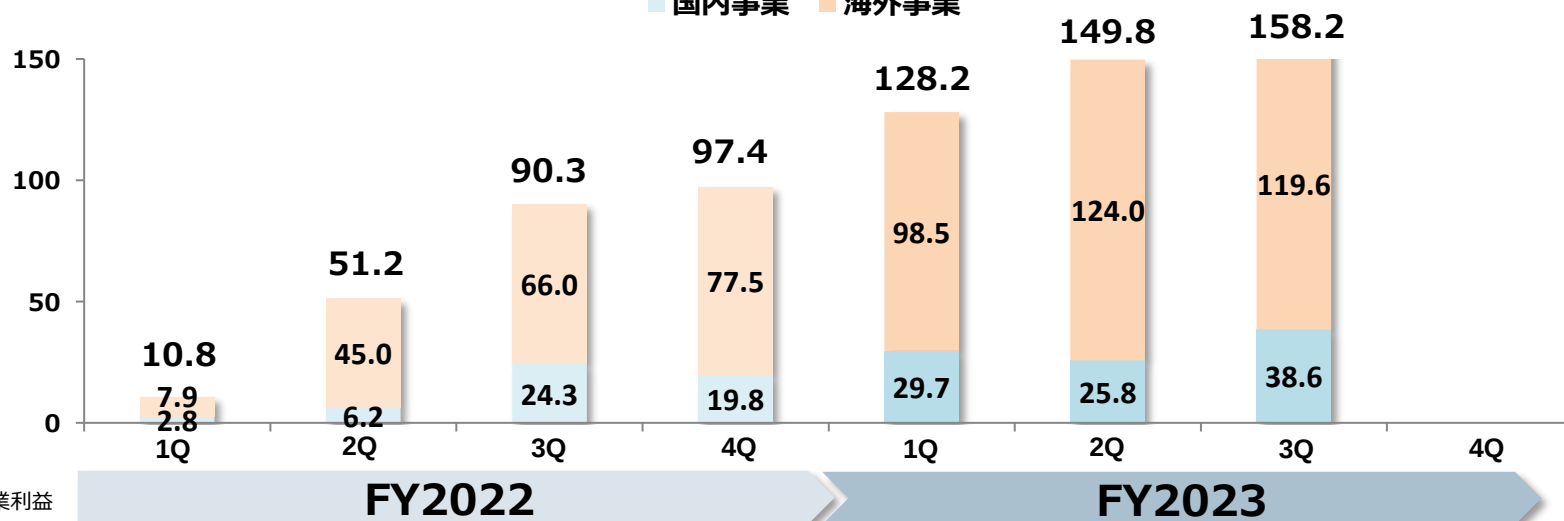
売上高



(単位：億円)

国内事業 海外事業

営業利益
(※)



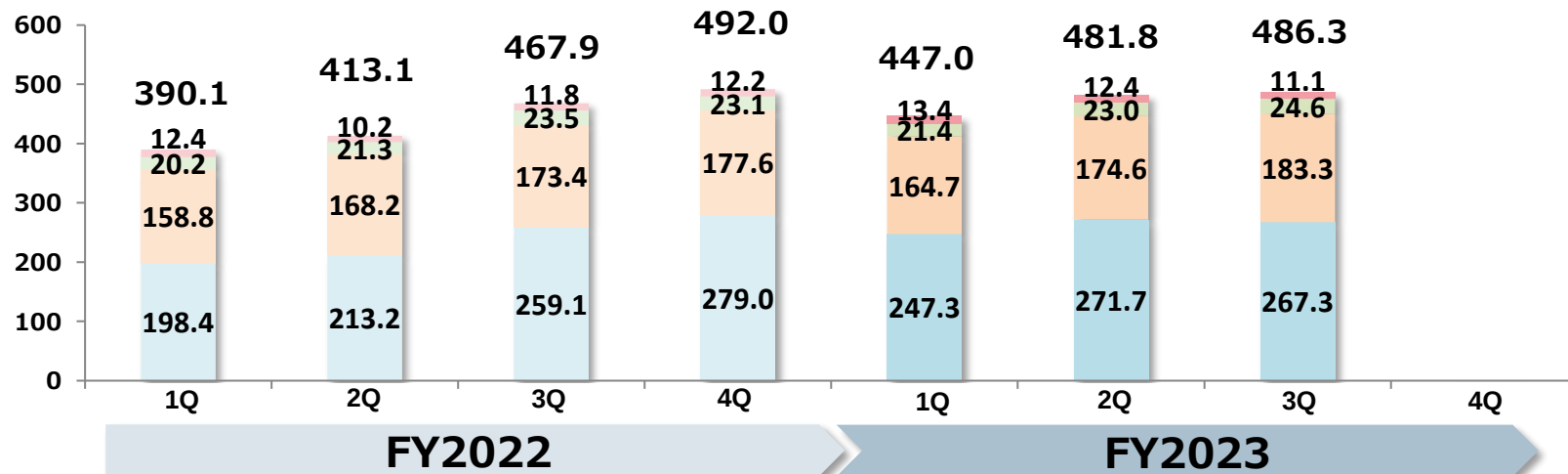
(※) のれん等償却前営業利益

【参考資料】四半期推移（カテゴリー別売上高）

（単位：億円）

■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他

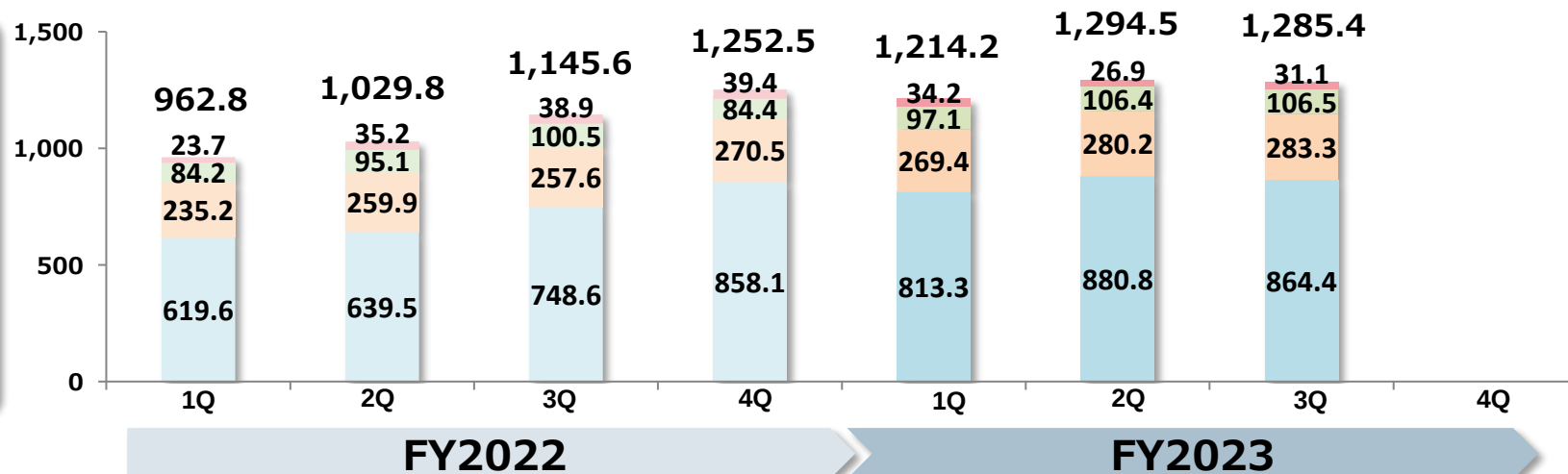
売上高／国内



（単位：億円）

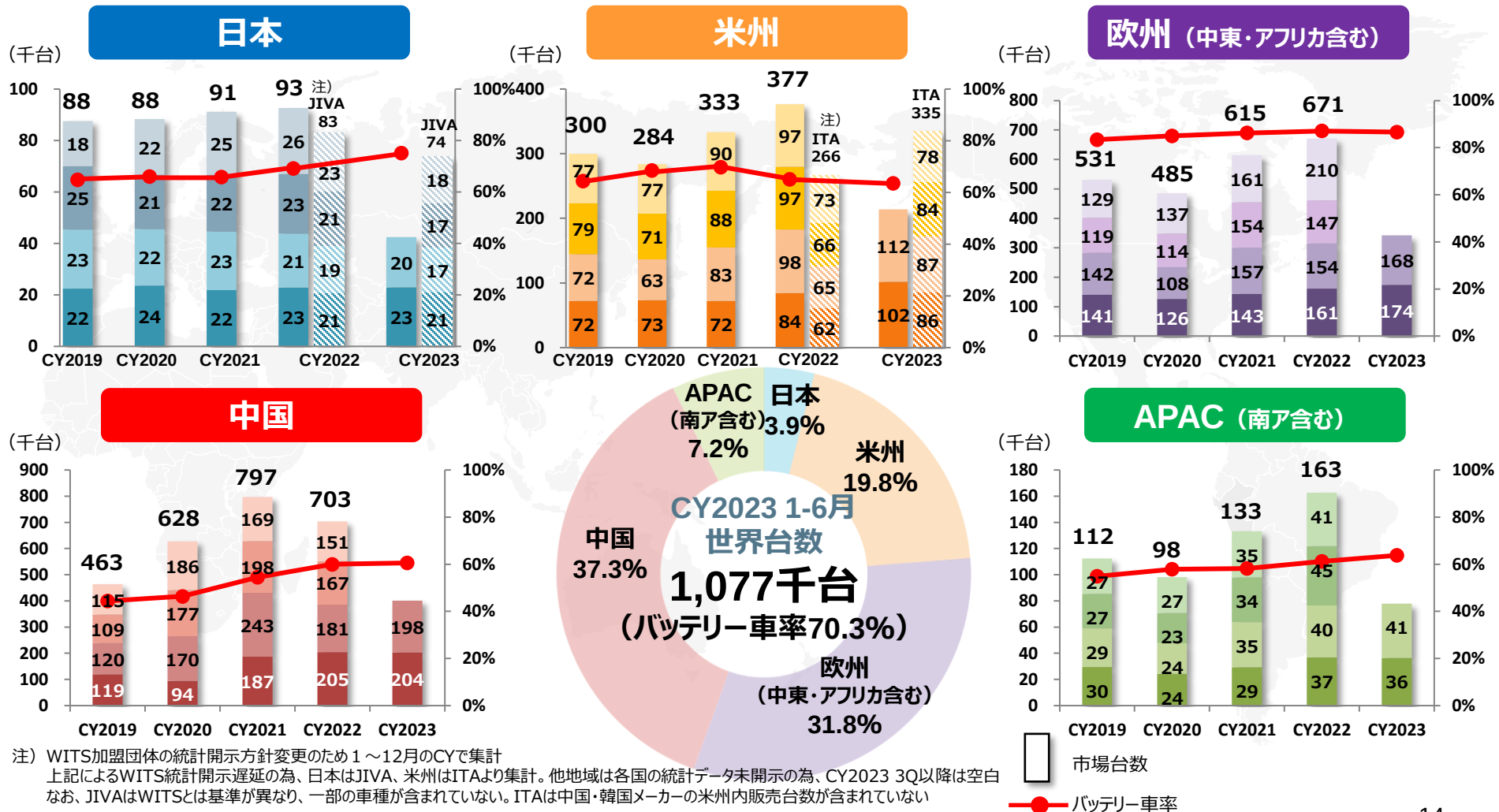
■ 製品 ■ アフターサービス ■ リースレンタル ■ その他

売上高／海外



【参考資料】フォークリフト市場動向【出荷】

- 2023年1~12月において、日本(JIVA統計)は前年より減速傾向、米州(ITA統計)は景気減速感はあるものの出荷は引き続き堅調

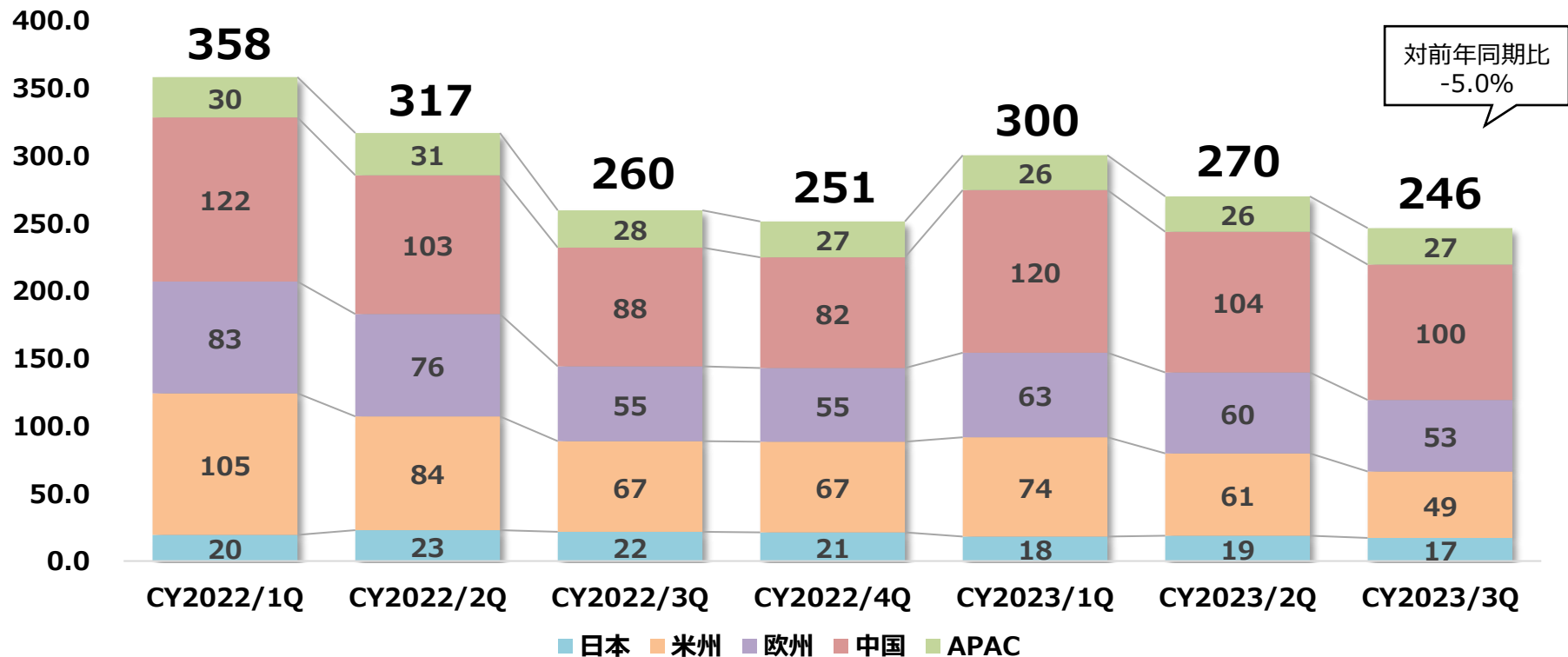


【参考資料】フォークリフト市場動向【受注】（四半期推移） **Logisnext**

- 世界的な景気減速により、全地域において前年同期比で減少したが、落ち込み幅は徐々に緩やかになっている

受注台数（ClassⅢ(※) 除く）

（単位：千台）



（※）ClassⅢ：自走式電動小型リフト

注）WITS加盟団体の統計開示方針変更のため1～12月のCYで集計

© MITSUBISHI LOGISNEXT CO., LTD. All rights reserved.

注意事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 将来における弊社の業績が、現在の弊社の将来予測と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、弊社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、弊社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

本資料に関するお問い合わせ

三菱ロジスネクスト株式会社 経営戦略室 蒔屋・光行

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1

TEL : 075-956-4419 FAX : 075-955-8993

URL : www.logisnext.com

Logisnext

三菱ロジスネクスト